

議案第13号 令和8年度東郷町一般会計予算

討論一覧（討論順掲載）

反対討論 門原武志 議員

暮らし守るには不十分

本予算は、物価高騰と国際情勢の緊迫化により住民生活が厳しさを増す中で編成されたが、暮らしを支える内容としては不十分である。空調整備など評価できる事業はあるものの、物価高騰に苦しむ住民の切実な要求には十分応えていない。給食費無償化では、給食を食べていない子どもへの支援がなく問題である。新生活応援手当は給付時期が遅く、各種補助制度も開始が遅い。放課後子ども教室の民間委託では処遇確保が不透明であり、公共施設管理も民間任せでなく人材育成を重視すべきである。

賛成討論 石原えりか 議員

未来が想像できるまちへ 物価高騰支援と120周年事業

本予算案は、東郷創立120周年の節目を祝い、物価高騰や公共交通の再編といった喫緊の課題に対し、具体的な道筋を示すことで「未来が想像できるまち」の実現に向けた確かな一歩を踏み出す予算である。国の交付金を活用した「家庭用省エネ家電製品購入促進補助金」は、家計負担の軽減と二酸化炭素排出量の削減を通じて地球温暖化防止を両立させる。また、新たに新設される「家庭用防災用品購入費補助金」は、町民の防災意識を高め、自らの手で命を守る「自助力」を向上させる、未来を見据えた備えへの投資である。さらに、創立120周年記念の「とうごう歴史YEAR」では、民話の絵本化、東郷音頭50周年事業、名古屋城献上石を通じた歴史発信など、郷土の歴史を次世代へつなぐ取り組みが行われる。公共交通再編に向けた住民対話の継続も含め、安心と希望を実感できることを期待する。

賛成討論 中野まさひろ 議員

「校内教育支援センター」の小学校への拡大等を!!

特に評価する事業は、「歯周病検診の対象年齢拡大」「妊婦へのRSウイルスワクチン接種開始」「中学校校内教育支援センター本格実施」「小学校の給食無償化」「セントラル地区の公園整備」「家庭用省エネ家電購入費用一部補助」「小規模企業及び中小企業振興補助金新設」

である。今後は、

- ①学校現場からの要望の大きい「校内教育支援センター」の小学校への拡大
 - ②中学校の休日部活動の自己負担金 3000 円の可能な限りの減額
 - ③補正予算の審査において保育士さんの確保の困難さが明らかになったが、新たに始まる「誰でも通園制度」を含め、必要な保育士さんの確保に万全を期すこと
- 以上を強く要請し、賛成する。

賛成討論 高橋道則 議員

大きな嵐が起きてしまいました。予算案が決められた時点で中東での紛争は発生していなかった。予算案の中に防災用品購入補助事業がある。さらに、国との太いパイプで行政も頑張ってもらいたい。

以上、宜しくご査収願います。

賛成討論 高木佳子 議員

特に評価本予算は、施政方針に掲げられた「誰もが安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け、限られた財源の中で優先順位を見極め着実に編成されたものと評価致します。

新規事業である 20 歳及び 25 歳を対象とした歯周病検診は、若い世代からの疾病予防と健康寿命の延伸に資する取組であります。また、家庭用防災用品購入費補助事業や家庭用省エネ家電製品購入促進補助事業は、物価高騰対策として家計支援と防災力向上、環境負荷軽減を図るものとして評価いたします。

さらに、東郷 120 周年歴史 YEAR の取組は、町の歴史や文化を次世代へ継承し、郷土への愛着を育む重要な機会であります。町民一人ひとりがその価値を再認識し、未来へつなげていく契機となることを期待いたします。あわせて、持続可能なまちづくりの推進にもつながるものと考えます。

以上の理由により、本予算案に賛成いたします。